

春の星空

【児童センター春の星空5月号】

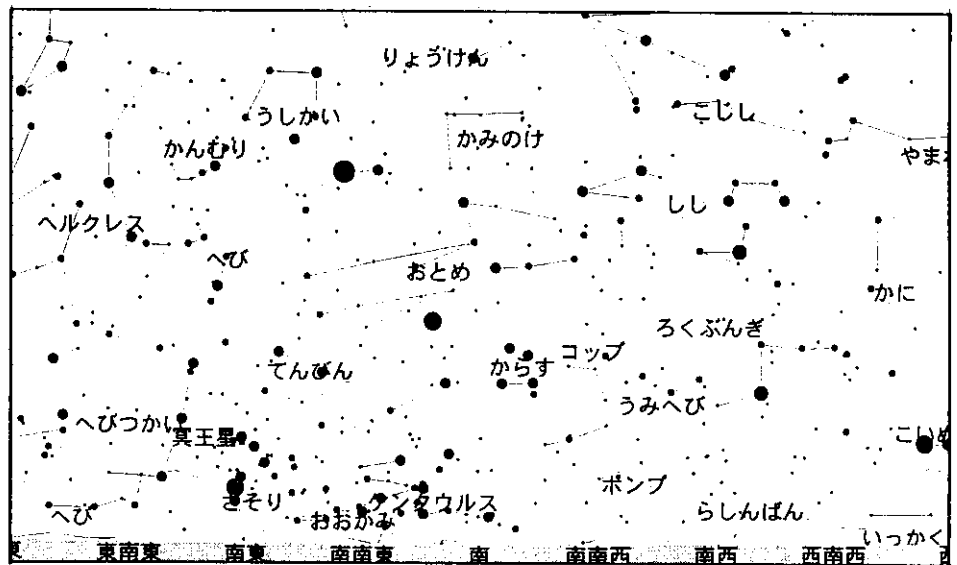
5月の星空は、7個の星が大きな「ひしゃく」の形をした北斗七星が北の空、高く目にとまります。7個の星の中で、6個までが2等星なので比較的明るい夜空でも北斗七星を見ることができます。アメリカン・インディアンはこの星の並びを、「熊」の形にたとえています。

北極星の見つけ方：ひしゃくの先端の2つの星を約5倍延ばすと2等星の星があります。これが「北極星」になります。和名では「北の一つ星」「方角星」「目あて星」などです。方位磁針（コンパス）の北向きに延長したのを参考にしましょう。

<5月の星空カレンダー>

- 1日（火）☉上弦
- 7日（月）☾満月
- 15日（火）☾下弦
- 23日（水）●新月
- 30日（水）☉上弦

右の星図は、5月中旬夜9時ごろ、南の方向を中心に見た星空です。



☆☆☆☆☆ 《天文現象》

☆今まで、夕方の西空にあった金星は、明けの明星として日の出前の東空で輝きます。

特に、5月5日は金星が最大光度になりますので、早起きして「明けの明星」を観望してみましょう。（日の出前約30分の東空に注目しましょう）

☆やはり明け方になりますが、5月11日の午前4時頃、月の少し下に赤色をした火星があります。双眼鏡なら月と一緒に火星を見ることができます。

☆5月22日の夕焼け空の中で、西空低く木星が明るく輝きます。その木星のすぐ上にめったに見ることのできない水星があります。夕方の西空で水星を見つけだす絶好のチャンスになります。日没20分～30分後の西北西の空を双眼鏡で、木星をたよりに水星を捜してみましょう。